

「救いたい心」をつむぐコミュニケーションマガジン

赤十字

10

OCTOBER 2020 NO.965

NEWS

Japanese Red Cross Society NEWS
<http://www.jrc.or.jp>

令和2年10月1日(毎月1日発行)
赤十字新聞 第965号
昭和24年9月30日 第三種郵便物認可



わたしも赤十字

寄付の協力者

植田勝典 (うえた・かつのり) さん【p.5でご紹介】

特集

10月は「骨髄バンク推進月間」

いのちを、ありがとう

人間を救うのは、人間だ。



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL: 03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

10月は「骨髄バンク推進月間」

いのちを、ありがとう

「日本骨髄バンク」は血液の病気で苦しむ患者さんが移植を受ける機会を得られるために活動する公益財団法人です。日本赤十字社は国が指定した支援機関として、骨髄バンク事業においてはドナーの登録手続きや、登録者のデータ管理、HLA型検査など、患者さんとドナーをつなぐ活動などへの協力を行っています。100万人に1人といわれる難病から救われた、ある幼い命の物語を紹介します。

0歳で100万人に1人の難病に
救えるのは「造血幹細胞移植」のみ

血液の病気で苦しむ患者さんを救う治療法として効果を発揮するのが、骨髄・末梢血幹細胞移植・さい帯血移植の「造血幹細胞移植^{*}」です。この治療法は正常な造血が行われなくなった患者さんの造血幹細胞を健康な人(ドナー)の造血幹細胞と入れ替えるものです。日本では毎年2000人以上の患者さんが骨髄バンクを介しての移植を必要としています。

2017年生まれの宮島梨花ちゃんもその1人でした。わずか0歳で「若年性骨髄単球性白血病」という100万人に1人といわれる難病と診断された梨花ちゃん。お母さまの知子さんが梨花ちゃんの異変に気が付いたのは、生後3カ月の頃。抱っこひもをしたときだけ足の裏に紫斑^{しはん}ができたことでした。それでも身長・体重の増加は正常の範囲内だったため、「そのときはまだ重大な病気だとは思っていなかったのです」と振り返ります。

「乳児湿疹で皮膚科を受診した際に足裏の紫斑の相談もしました。そこで小児科へ行くことになり、採血すると、さらに大学病院での受診をすすめられ、白血病の疑いがあるとわかったのです」(知子さん。以下、同)

※ 造血幹細胞移植 ◎移植には3種類あり、骨髄移植・末梢血幹細胞移植のほか、さい帯血移植があります。移植用のさい帯血を管理する公的さい帯バンクは全国に6カ所、そのうち4カ所の公的さい帯バンクを日本赤十字社が運営しています。



無事に退院し、元気に遊ぶ梨花ちゃん。好奇心旺盛で、家族をたくさん笑わせてくれます

判明した病名は「若年性骨髄単球性白血病」。研究中の難病で、主治医からは治療方法は造血幹細胞移植しかないだろうと診断されたそうです。知子さんは、梨花ちゃんを抱きかかえ、駆けつけた家族と全員で泣き崩れました。

「何より不安だったのは、適合するドナーが見つかるだろうか? ということでした。この子に兄弟姉妹はなく、両親でも適合しなかったのです」

たった1人見つかったドナーに
幼い命の希望をすべて託して

造血幹細胞移植を安全に行うためには、原則として患者さんとドナーのHLA型(ヒト白血球抗原)が一致している必要があります。非血縁者間で一致するのは数百から数万分の一という途方もなく低い確率です。一致するドナーが見つからなかった場合、代

ドナーになること。それは、誰かに、命と未来を与えること

■骨髄バンクドナー / 2018年提供

いのつめ
猪爪正和さん(新潟県・高校教諭)



私がドナー登録をしたのは、昔、指導したバスケットボール部員がきっかけです。1999年9月、当時高校3年生のS君は体調を崩して病院で診察を受けました。診断の結果は「白血病」。5月の地区大会で優

勝、県大会ベスト8のチームのスタメンとして活躍し、いよいよ大学受験に本腰、というタイミングでの発症でした。そこから始まった2年9カ月の長い闘病生活。彼は、最後まで病気の克服を諦めていなかったと思います。お見舞いに行くと、抗がん剤の副作用で髪が抜けて毛糸の帽子をかぶった姿ながら、明るく、つらそうな様子は一切見せませんでした。そして、2001年4月。県大会前に無菌室にいる彼に電話を掛けたら、「この病気を必ず治して、試合を見に行きます!」と力強い声。張りのある彼の声の響きが今でも耳に残っています。それが彼との最後の会話に。その会話からたった2カ月で、彼は急逝したのです。

S君が亡くなった後、骨髄バンクを紹介するTV番組を見てたまらなくなり、すぐドナー登録をしました。登録した後に学んだのは、白血病の方は薬の副

作用に苦しみながらも化学療法を続け、骨髄移植に最後の望みを託すということ。患者さんは強大な敵に立ち向かっていて、そこには一緒に闘っているチームがいる。患者(家族)、ドクター、骨髄バンク、コーディネーター、ドナー。これらが5本の指のようにぎゅっと力を合わせて一つの命を救う闘いに挑む。実は私の次女は心臓の病気を手術で救ってもらったことがあります。医者ではない私が人の命を救えるということにあらためて気づかされ、胸が熱くなりました。

私に提供依頼(適合通知)が来たのは2018年6月。そして各種検査をして提供できたのは10月。S君の死から17年がたっていました。数日間入院し、採取が終わった後、私は自分の腕に残る針の痕を写真に撮りました。…S君、見えていますか。君のおかげで、私は誰かの命と未来を救うことができたようです。誰かを救うチャンスをくれて、ありがとう。



初めて入院したとき(生後5カ月)

替可能な候補となるのが「HLA1座不一致」のドナーです。

骨髓バンクに患者登録をした梨花ちゃんと移植のコーディネートができた「HLA1座不一致」のドナーは、たった1人でした。知子さんは現実の厳しさを噛み締めます。「それでも顔も知らない娘のために貴重な時間を割いて骨髓を提供してくださるドナーさんがいらっしゃったことには、感謝してもしきれませんでした」

知子さんは育児休業終了後、介護休暇を取得。24時間病院で付き添いました。ご主人も社内で異動を願い出て、夫婦ともに幼い命を守っていく環境を整えました。

小さな体に命のエネルギーを 吹き込んでくれたドナーの幹細胞

移植の約1～2週間前には、患者本人の造血幹細胞を壊すために抗がん剤投与や放射線治療といった「前処置」を行います。梨花ちゃんの軟らかい髪の毛は、触っただけでパッサリと抜け落ちるようになり、さらに移植の翌日には血小板アレルギーによって、全身の発疹や咳、嘔吐を引き起こすようになりました。1畳

ほどのベッドの上で、24時間点滴につながれた梨花ちゃんは、1歳になったばかりで言葉も話せません。こんな日々がいつまで続くのだろうと、知子さんは悲しみに暮れたと言います。

ところが移植からしばらくたって、梨花ちゃんの生命力はみるみるうちに輝き出しました。血小板アレルギーが落ち着いてからは、ベッドの上で起き上がって遊んだり、病室が個室でなくなってからは歩行練習でもしっかりと歩みを進めるまでになりました。

ドナーからの手紙は家族の宝物 善意に助けられた命、ずっと忘れずに

梨花ちゃんが移植の前処置をスタートしたのは、1歳の誕生日当日。そして2歳の誕生日は家族に囲まれてお祝いすることができました。

「誕生日を迎えるたびに、今年も1年元気に過ごせていることに感謝しています。移植日は第2の誕生日として、お祝いする日が1つ増えました」

患者さんとドナーは移植後1年以内に2回だけ手紙を送り合うことができます。知子さんたちも退院してすぐに、報告とお礼の手紙を送りました。ドナーからの返事の手紙は、宮島さん一家の大切な宝物です。「娘が大きくなったら、ドナーさんからのお手紙を渡そうと思います。『生きていてくれてありがとう』という気持ちとともに、あなたの命はたくさんの方々によって助けられたかけがえのないものなんだよ、ということをしっかり伝えていきたいですね」



たくさんの点滴につながれたまま、おもちゃで遊ぶ梨花ちゃん

今回の特集は「日本骨髓バンクNEWS vol.56」に掲載の体験記を赤十字NEWS用に短く編集しました。日本骨髓バンクでは移植を待つ患者さんに向けた応援メッセージ動画を公開しています。シンガー・ソングライターの岡村孝子さん、俳優の木下ほうかさん他、たくさんの方々の熱いメッセージをぜひご覧ください。梨花ちゃんも写真で登場します。

https://youtu.be/zXsUP_5N3q8



〈日本骨髓バンクからのメッセージ〉

「一人でも多くの、ドナー登録を！」

コロナ禍で深刻さが増す「ドナー不足」

今年度、ACジャパンの骨髓バンク支援CMは、急性白血病を乗り越えてピッチに復帰したJリーガーの早川史哉選手(アルビレックス新潟)が出演。早川選手のように骨髓バンクを介して移植を待っている方は年間約2000人に及びますが、4割の人は移植を受けられていません。さらに今年の5～6月は外出自粛の影響でドナーの登録窓口である献血も協力者が減っていることから、新規の登録者数はより厳しさを増してい

ます。実は、年齢超過や本人申告などの理由で登録取り消しとなる方が毎月発生しており、上の表の通り、登録した数から取り消した数を差し引くと、毎月の登録数の増加はほんのわずか。また、ドナー登録をしても、ドナー事情により提供に至らないケースもあるため、登録時に慎重に考え、提供までのプロセスを十分に理解した上での登録が必要です。

■ドナー登録取消者の推移(年度ごと)
※日本骨髓バンク調べ



■月ごとの登録者・取消者の数(2020年)

	5月	6月	7月	8月
登録者数	782人	1562人	2392人	2667人
取消者数	1788人	1874人	1951人	2005人
増減	-1006	-312	+441	+662

協力：ACジャパン



ドナー登録について、詳しくはこちらをご覧ください

骨髓バンク 検索

<https://www.jmdp.or.jp/sp/reg/about/>



TOPICS

「コロナ禍での避難」あなたの備えを点検しませんか？

新型コロナウイルス感染症の不安がある中、災害からの避難時に何を意識すべきでしょうか？
赤十字防災セミナーの担当者からいますぐできる「備え」についてご案内します。

「近年は、大雨や台風などにより、大規模な災害が頻繁に発生するようになってきています。さらに現在、新型コロナウイルス感染防止対策が災害時にも必須とされる状況下では、災害に対する備えについて、一人一人が改めて確認しておくことが大切です。例えば、避難する場所、避難するタイミング、持ち物…といった、もともと準備しておいたことが、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況でも有効であるかなど、より具体的な点検が必要です。

内閣府からは、次のような「避難行動判定フロー」が公開されています。これと併せて、お住まいの地域における「ハザードマップ」(下の二次元バーコード・国土交通省による「ハザードマップポータルサイト」からも確認できます)を災害の種類ごとに確認し、ご家族などと具体的な避難行動について話し合っておくのもよいでしょう。

全国の日赤支部では、地域住民の方々を対象とする「赤十字防災セミナー」を一時中止しておりましたが、感染防止対策を十分に行ったうえでセミナー開催を再開した支部もあります。赤十字防災セミナーの開催状況については、最寄りの日赤支部にお尋ねください」



日本赤十字社 本社 防災業務課
平山壽樹

① まずは非常持ち出し袋の内容をチェック！



マスク



消毒液



体温計

災害時にすぐに持って逃げられるよう、水や非常食、タオルや携帯電話の充電器などをまとめた「非常持ち出し袋」。その中に今すぐ追加するべきもの…それは「感染対策グッズ」です！

マスク・消毒液・体温計(できれば一人一本)のほか、水が使えないことを想定して除菌ウエットシートもあると便利です。日常で使用するものとは別に、非常持ち出し袋の中に備蓄しましょう。

② ハザードマップを見て、家の中で避難行動をシミュレーション

集まって避難訓練を行えなくても、「一人で」「家の中で」避難のイメージトレーニングをすることも可能です。

もしもの時、お住まいの地域や環境にあわせてどのような避難行動をとるべきか、まずは下のAで居住地域のハザードマップを確認し、つぎに「避難行動判定フロー」を見て、考えてみましょう。

避難行動判定フロー

START!

あなたが取るべき避難行動は？

出典：内閣府防災

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう。

A. ハザードマップで居住地域の被害想定などを見てみましょう

ハザードマップ

検索

<https://disaportal.gsi.go.jp/>


B. 実際に浸水や土砂災害が発生した場合をイメージして、左の「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

C. 警戒レベルは気象庁と市区町村が避難情報とあわせて出す情報です。なお「警戒レベル4」は避難**勧告**、「警戒レベル5」は**すでに災害が発生**している状況です。

心構えを高める (気象庁発表) 避難行動の確認 (気象庁発表) 避難に時間を要する人は避難へ (市区町村発表) 安全な場所へ避難 (市区町村発表)

この情報は内閣府の公開しているこちらのサイトでもご確認いただけます。


[避難行動判定フロー 内閣府](#)

検索

わたしも赤十字

今月の表紙

赤十字にはさまざまな形で赤十字の活動に参加する支援者がいます。全国の支援者の中から毎月お一人を、温かいメッセージと共にご紹介します。



寄付の協力者

植田勝典 (うえだ・かつのり)さん

千葉県千葉市/57歳/IT企業社長

全力で人の役に立ちたいので。必死に働き、寄付をします

大阪で会社を経営していた私の父は「寄付なんか損するだけや」という人でした。でも私は反対に、幼い頃にアンリ・デュナンに感銘を受け、大きくなったら父親の商売を継いで、たくさんもうけて人のために使おうと思っていました。しかし私が16歳の時に父が他界し、一人で生きなくてはならない状況に。父の会社も他の人の手に渡ってしまって…。生きるの死ぬのという思いを味わうと、人って自分が「生かされている」ことに気づくんです。生かされている間は、全力で人の役に立ちたい。こうして必死で働いて

得た利益から寄付を始めました。

「人の道」を示してくれる赤十字は素晴らしいです。あらゆることに慈愛の心から手を差し伸べ、活動をする組織は他にない。私の寄付を赤十字が人のために使ってくれているところを見ると、心底うれしく思います。以前、使途指定寄付をして救急法小冊子を作ってもらい、現物を目にした時は感激しました。人の世界は、汚いところもあります。でも赤十字は「人の道」をたくさん見せてくれる。私の寄付は、赤十字が見せてくれる世界への恩返し、なのかもしれません。

寄付するあなたも赤十字です

日本赤十字社へのご寄付の方法

クレジットカードで寄付



Webサイトからの登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみからお選びいただけます。

身近な窓口から寄付



- 郵便局・銀行の口座振替
- 郵便局・銀行の窓口
- お近くの日本赤十字社窓口

詳しくはこちら→



日本赤十字社 寄付

検索

donate.jrc.or.jp/lp/

3.11 あれから10年を生きて

第7回

東日本大震災の発生から2021年3月で10年。来年の3月まで「3.11」から人生を変えた人々の物語を毎月連載します。

君はどこから来たんだ。外国人パイロットが、何気なく聞いてきました。しかし私が日本の福島から来た、と答えると、彼は身構えて「こんなところに居て大丈夫なのか!？」と。

イタリアで2011年8月に開催された曲技飛行の世界選手権でのことです。福島で原発事故が起きてから5カ月。当時は世界中が日本の放射能汚染を不安視していました。中には日本人や日本から運び込まれる物に警戒する人々も。しかし私は、自分が世界の舞台で活躍する姿を示すことで、世界の偏見を払拭したい、と予定通りに選手権に参加しました。

パイロットは子どもの頃からの夢でした。大学の航空部で18歳から飛行訓練を開始。アルバイトでお金をためて海外に行き、パイロット修行に全てをささげる日々。1999年に縁もゆかりもない福島に生活拠点を移したのは、福島市に「ふくしまスカイパーク」という農道離着陸場があり、曲技飛行などのスカイスポーツに適していたからです。その後2003年には曲技飛行のNPOを立ち上げ、愛好者が増加。2006年には福島市からその飛行場の管理を委託されました。



ふくしまスカイパークにて、「相棒」の小型プロペラ機の前で

「空のF1」と称されるレッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップに参加したのは2009年。アジア人初です。サムライパイロットと呼ばれ、2017年に年間総合

見上げて、希望のスマイルマーク

赤十字飛行隊 福島支隊 **室屋義秀さん**

優勝するまで世界中のエアレース、エアショーで休みなく飛び続けました。

私は福島県の赤十字飛行隊の創設メンバーです。しかし、3.11の災害発生直後は、飛行隊として空に上がることは断念。災害発生からの数週間、福島の上空では24時間、自衛隊や消防の飛行機、ヘリコプター、ドローンまで飛び回っていたのです。私も飛行場に駆けつけ、重機を借りて除雪し、支援のために飛ぶことを考えましたが、緊急支援ヘリコプターの地上支援に専念しました。今は飛べなくても、後で自分にできることがある、そう信じて。

災害後すぐに、海外の友人・知人から「日本を出てこちらで生活しないか」という誘いもありました。パイロットとして活動するには環境の整った海外で暮らす方が都合が良い。でも、私は福島に残ることを選択。やっぱり日本、そして福島をベースに活動したかったから。

今、新型コロナウイルス感染症に対応するため防護服を着た人々の映像を見ると、あの頃のことを思い出します。3.11の後、福島への偏見は日本国内でも、とくに西に行くほど顕著に感じました。面積の広い福島には放射能の数値の低い場所がたくさんありましたが、無遠慮なことを言われて、冗談めかして自分の頭や体のほこりをその人に向かって払って見せたこともあるんですよ。こういった偏見を持つ人には、時に冗談を交えながらも、ちゃんと科学的なデータを用いて、丁寧に説明することにしています。

今年の夏、福島県と山形県の上空に、合わせて約30個のスマイル(ニコちゃん)マークを描くフライトを実施しました。プロペラ機の白煙で作られた線が青空にくっきりと浮かび上がり、たくさんの方がSNSで写真や動画を投稿してくださいました。うつむきがちな時、空を見上げると、気持ちが変わります。どうにもならない困難があっても、どうか顔を上げて。飛行機乗りにはしかできない、人びとの心を明るくする魔法だと信じて、これからも飛び続けます。



全国

もしも、新型コロナウイルス感染症の流行と自然災害が同時に発生したら…
「複合災害」に備えた訓練を各地で実施。偏見・差別への啓発も

新型コロナウイルスまん延下において大規模な災害が発生したことを想定した災害救護訓練などが各地で行われました。日赤香川県支部は8月30日に南海トラフ地震を想定した「香川県総合防災訓練」に参加。消防など関係機関41団体と共に、バイク奉仕団などの複数の赤十字奉仕団も参加、結束を固めました。また、大阪府支部は、毎年大阪府で行われる「大阪880万人訓練」にあわせて防災啓発イベント「一日赤十字デー」を9月4日に開催。災害食のレシピなどと一緒に関啓発資材「新型コロナウイルスの3つの顔」を配布しました。

9月5日、宮城県の石巻赤十字病院では、大規模な地震が起きたという想定に医師や看護師などおよそ160人が参加。検温の徹底などを加えた傷病者受け入れの新たな流れを確認しました。



青森県

ねぶた文化を手話で伝える！
青森県勢が初の本大会出場へ

青森山田高校のインターアクトクラブ・青少年赤十字部が、9月27日に開催された「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」本大会に青森県勢として初出場。ほとんどの生徒が手話を始めたばかりのチームは、コロナのいじめに悩む転校生をねぶた祭の楽しさで励ますオリジナルの物語を披露。コロナ禍で活動が制限される中、部員同士が自主的に取り組んだ結果が今回の出場につながりました。



脚本から演出まで生徒が担当、チーム一丸となり、本大会へ出場！

新潟県

「がんばれ日赤」のエールで
病院スタッフが元気をチャージ

8月27日、長岡赤十字病院の病院前広場で、音楽会「蒼いシンフォニー」が開催されました。この会は医療従事者への感謝の気持ちを込めて、長岡蒼柴ライオンズクラブが企画したものです。中越高等学校吹奏楽部による高校野球の応援歌メドレーなどの生演奏が披露され、曲に乗せて「勝て勝て日赤」「がんばれ日赤」のエールが病院スタッフに贈られました。



長野県

一人でもできる！コロナ禍での
新しい防災啓発教材が完成

日赤長野県支部は、感染症対策を盛り込んだ啓発教材「避難所体験ゲーム」を新たに作成しました。避難所運営の一員として避難者の受け入れから部屋割り、生活空間の確保、トイレ問題、ペット対応などを机上で模擬体験するもの。「密」を避け、一人でも問題意識を高められるような内容となっており、体験した学生は「災害に備えて、もっと学びたい」と話しました。



「赤十字を応援！」プレゼント A

中村憲剛 選手 川崎フロンターレ

サイン入りユニホーム

1名さまに



© KAWASAKI FRONTALE

サッカーができる状況に感謝し、僕らのプレーで勇気と笑顔をお届けます！

今年はコロナ禍の影響で残念ながらスポーツをはじめ、多くのイベントが中止や延期となっています。「サッカーができる」状況が、当たり前ではないことを実感し、関わるすべての方々へ向け、改めて感謝の気持ちを強くもつようになりました。僕が所属する川崎フロンターレのホームゲームでは、毎年「噂の献血SHOW」という献血推進イベントを実施しています。選手たちも試合後に「けんけつちゃん」のカチューシャを着用するなど楽しくPRに協力させていただいています。今も僕たちが献血を応援する気持ちに変わりはありません。川崎市内の献血ルームではフロンターレのキャンペーンも実施中ですので、ぜひ献血にご協力ください！応援してくれている子どもたちのためにも、僕たちはスタジアムで精いっぱいプレーします。このようなときだからこそ、川崎フロンターレから勇気と笑顔をお届けます。

なかむら・けんご©1980年10月31日生まれ。東京都出身、O型。小学校時代よりサッカーをはじめ、2003年に川崎フロンターレに加入。Jリーグ優秀選手賞15回受賞、Jリーグベストイレブン8回選出など活躍。2016年にはJリーグ最優秀選手賞に輝く。ポジションはMF。日本代表通算68試合出場/6得点。

上記プレゼントA希望者は、右記WEBサイトにてご応募ください。



インターネット
アクセス

赤十字ニュース プレゼント 検索
www.jrc.or.jp/publication/news/

ここから
応募
できます



全国

「ソーシャルディスタンス」「オンライン」で命を救う技術を習得 ウィズコロナ時代の救急法講習会を各地で開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地で開催される救急法講習会も新たな形が導入され始めています。感染防止に配慮しながら救急法を習得するために、現在盛んに行われているのがオンラインによる講習です。

日赤鹿児島県支部では「コロナ禍における一次救命処置」の講習会を高校生1450人を対象に開催。各クラスの代表者10人ほどがメイン会場で受講し、その他の生徒はオンラインで胸骨圧迫の実技練習に参加しました。静岡県の青少年赤十字加盟校・三島市立山田中学校では、全校生徒約270人が「生命尊重」をテーマとした道徳の授業とともに、防災に関する講義を受講。3密回避などの感染防止策を図りながら、一次救命処置の入門講座や炊き出し体験など、さまざまな形で防災にまつわる考えを深めました。



鹿児島県

メイン会場でクラスの代表が心肺蘇生を行い、各教室に中継した



静岡県

人との距離を十分に空けて人形を使った胸骨圧迫を体験

常任理事会開催報告

令和2年9月18日、令和2年度第3回の常任理事会が開催されました。今回の常任理事会は、付議事項はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症による各事業への影響とその対応について、予算の補正にかかる社長専決事項について、それぞれ報告しました。

2021年版が販売開始！ 赤十字手帳と赤十字カレンダー

今年もセットでプレゼント。応募方法は下記をご覧ください。

10
名さまに



赤十字手帳2021年版
赤リリバーシブルカバー
別冊赤十字便覧
(約15cm×9cm)
(350円税込み・送料別)



赤十字カレンダー2021年版
壁掛けカレンダー
(B3、13枚つづり)
(935円税込み・送料別)

【お問い合わせ・ご注文】

様日赤サービス TEL:03-3437-7516 FAX:03-3459-1432

岡山県

「お家時間」で作ってみよう 救急車ペーパークラフト

日赤岡山県支部では、「救急車ペーパークラフト」の展開図を支部ホームページで公開しています。従来からイベント会場などで配布していましたが、今回組み立て方を解説する動画を作成し、YouTubeで配信を開始しました。「お家時間」を有効活用できるこのペーパークラフトをダウンロードし、子どもたちやご家族といっしょにチャレンジしてみてください。

お家で
ペーパークラフト
多目的救急車
を作ろう！



ペーパークラフトのモデルは実際に配備されている多目的救急車

千葉県

防災・復興に貢献した赤十字団体が 内閣総理大臣表彰を受賞

9月4日、千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会が、令和元年の大雨被害で被災地の応急復旧に貢献したとして防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞、清水重彦会長が安倍晋三首相から賞が授与される表彰式に出席しました。今回は千葉県赤十字奉仕団(大坪紘子委員長)も防災担当大臣表彰を受賞し、千葉県支部がダブル受賞となります。なお、総理大臣表彰は平成19年に石川県赤十字救護奉仕団の北村裕一氏以来13年ぶりです。



写真：内閣府提供

総理官邸で行われた表彰式に出席した清水会長(写真前列左端)

長野県

看護学校の学生たちはいま… コロナ禍でもできることを全力で！

全国の赤十字看護専門学校では、コロナ禍の今だからこそ「寄り添う心」の学びを大切にしています。長野赤十字看護専門学校では、感染防止のため講義はパソコンによる遠隔授業が中心、看護実習は看護学校併設病院で人数や滞在日数を調整し、感染予防をしながら行うなど従来とは異なる教育環境ですが、看護に大切な心の育成にはより一層力を入れ、指導を進めています。



小児看護学実習では入院中の子供たちに七夕カードをプレゼント

看護専門学校の令和3年度入試情報はこちらからご確認ください。なお、長野赤十字看護専門学校は2年後に閉校となるため、募集はありません。



「赤十字を応援！」プレゼント B

パートナー企業紹介 vol.7 よつ葉乳業株式会社



災害救援車の寄贈を続けて23年、社会貢献に積極的な北海道の乳業メーカー



日赤北海道支部への災害救援車寄贈は累計30台を数える

「北海道のおいしさを、まっすぐ。」というコーポレートスローガンのもと、北海道の酪農家と全国のお客様を結ぶ架け橋として半世紀以上にわたりおいしさと安全にこだわった商品を展開する、よつ葉乳業。北海道に根ざす企業として地元の各種プロスポーツへの支援や、苫小牧市にある札幌ドーム3.5倍の面積の所有林「よつ葉の森」で樹木が豊かに育つように草刈りをするなど、社員ボランティアによる環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

同社は、北海道南西沖地震(1993年)や阪神・淡路大震災(1995年)など多くの人命に関わる災害が発生したことを受け、災害対策強化の必要性を重く受け止め、1997年の創立30周年記念事業では、災害救援車「博愛号」を8台、日赤北海道支部へ寄贈しました。以降、毎年寄贈を続け、「博愛号」は2018年9月に発生した北海道胆振東部地震でも被害調査や救援物資の運搬などに活躍しました。よつ葉乳業の社会貢献への思いは日赤を通じて形になっています。

よつ葉の乳製品・乳飲料 詰め合わせセット

5名さまに



北海道産の原材料にこだわった「よつ葉のバターミルクパンケーキミックス」、スキムミルク、乳飲料(珈琲、苺、紅茶)の詰め合わせ

※写真はイメージです。また、商品デザインが変わる可能性があります。

上記プレゼント希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・WEBでご応募ください。①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤赤十字NEWS10月号を手にした場所(例/献血ルーム) ⑥10月号に関するご意見・ご感想

郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
日本赤十字社 広報室 赤十字 NEWS10月号プレゼント係
FAX / 03-6679-0785 WEB応募/右の2次元バーコードからご応募ください。
10月30日(金)必着 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

こちらから
応募
できます



WORLD NEWS

レバノン、ベイルート爆発事故


 レバノン


© パレスチナ赤新月社レバノン支部

ハイファ病院に運び込まれた負傷者のケアに協力する赤新月社スタッフ

日赤の支援を受けるハイファ病院がベイルート爆発事故の負傷者救護に尽力

8月4日(現地時間)に突如発生した大規模爆発で、死者190人以上、負傷者は6500人以上に。混乱を乗り切ったハイファ病院の病院長から、これまでの日赤の医療技術支援に対し謝意が伝えられました。

難民キャンプ内の小さな病院に市民が詰めかける緊急事態

倉庫火災が大爆発を引き起こし、辺り一面が焼け野原となったベイルートの爆発事故。現地のパレスチナ難民キャンプ内にあるハイファ病院は爆発直後から負傷者を受け入れて治療にあたりました。そもそもこの病院は難民支援のための施設ですが、今回の事故では市街地で暮らす一般市民も詰めかけました。

日赤は2018年4月からハイファ病院を含むパレスチナ赤新月社の3つの病院で医療技術支援を行っています。ところが今回の爆発は、レバノンに派遣された日赤の医療スタッフが

新型コロナウイルス感染症の影響で帰国を余儀なくされ、ベイルートに日赤の医師・看護師が一人もいないというタイミングで発生しました。

災害現場で役立った日赤の技術支援

ハイファ病院で指導した経験を持つ大阪赤十字病院の山田圭吾医師は「私自身がその現場に居られないという、もどかしさを感じています」と無念さをにじませながら、次のように語ります。

「今回起きた爆発事故は多数傷病者事故(Mass Casualty Incident; MCI)と呼ばれ、病院は通常業務の範囲では対応できないような多数の重症傷病者を受け入れなければならない状況になりました。限られたマンパワーと医療資源で最大限の患者さんを救命しなければならない特殊な状況が発生したのです」

処置室が3部屋、病床が45床と規模が小さいハイファ病院。しかし、事故発生を受けて55人もの負傷者を受け入れました。

「レバノンの人々は団結意識が高い。実際の搬入患者さん以外にも、多くの家族や隣人らが病院に付き添ってきたことでしょう。興奮した人であふれ、混乱した院内の様子が想像

できます。さらに現地の医療物資は本当に乏しく、通常の彼らの診療体制を考えると、この対応は相当に困難だったはず…」(山田医師)

現地の様子を自身の目で確認することができないため、山田医師の心配は尽きませんが、一方でハイファ病院のハリール・モハウィーシュ院長は爆発事故の後に「日赤の医療チームが指導してくれたノウハウが大いに役立ちました」と謝意を表明。「現地の人々の立場に立って、本当に必要とされるサポートを」という日赤の医療支援が、この困難を乗り越える一助となること、そしてベイルートが一日でも早く復興することを願っています。



© パレスチナ赤新月社レバノン支部

事故直後、応急処置ステーションで指揮をとるハリール院長(写真中央)



ハイファ病院で熱心に指導を行った山田医師(写真左/2018年8月)

数字で見えた!

世界で生かされる皆さまのご支援

世界中の災害や紛争から、人々の命と健康を守る日赤の国際活動。皆さまの寄付がどのように世界で役立てられているのかを、数字でわかりやすくお伝えします。

レバノンにおいて医療技術支援を行った病院の患者数

3万 5895人※

ハイファ病院:1万2739人
ハムシャリ病院:2万3156人

※2019年度。バルサム病院は2020年1月に派遣開始のため集計に含まず。



難民を受け入れるパレスチナの病院で医療技術支援を行う日赤の看護師

日赤では、2018年4月からレバノンにあるパレスチナ赤新月社の医療支援を行っています。この支援は物資よりも医療技術に重点を置いた内容で、日赤の医療スタッフを同社の運営するハイファ病院、ハムシャリ病院、バルサム病院の3病院に派遣。医療技術の進歩が停滞してしまった現地の医師にさまざまな技術を伝えてきました。

1948年の第一次中東戦争の折にパレスチナから逃げてきた人々は10万人。その数は増え続け、レバノンには人口の1割弱にあたる45万人のパレスチナ難民が暮らしています。現地の医師の多くは、長引く内戦の中で独自の技術を実践していました。「カルテ」や「トリアージ」などを用いずに対処してきたため、それらの新しい手法に抵抗があるという課題もありました。しかし、これまでに16人の日赤医療スタッフが根気よく指導を行い、医療技術が向上。2019年度は年間3万5895人への診療に役立っています。